

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

山梨県都留市

自治体名：山梨県都留市
担当課名：生涯学習課
電話番号：0554-43-1111

本報告書は、スポーツ庁の「令和7年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）」の一環として、山梨県が実施した「令和7年度地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」の成果を取りまとめたものです。

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	161.63 km ²
人口	28,142 人
公立中学校数	3 校
公立中学校生徒数	639 人
部活動数 (運動部活動のみ)	35 部活
地域クラブ活動数	8 クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

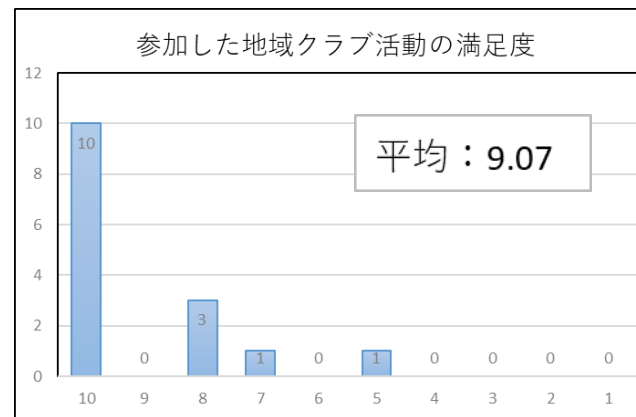
現在、本市には3校の公立中学校があり、生徒数639人で35の運動部活動が活動を行っている。少子化に伴い、軟式野球部・ラグビー部・バレーボール部（女子）・サッカー部で、市内外の中学校と合同チームによる活動を実施している。また、サッカー部や軟式野球部の新規入部募集停止や活動休止を行った学校がある。今後の市内中学校生徒数の推移を見ると、特に団体スポーツの存続は、困難であると考えられる。

令和6年12月より、6種目の地域クラブ活動（陸上・ソフトテニス・バレーボール・卓球・剣道・ラグビー）を、月2回実施している。令和7年4月に実施した生徒・保護者アンケートによると、本市の地域クラブ活動の満足度（10点満点）は、生徒が9.07、保護者が8.73とおおむね満足している生徒・保護者が多い。

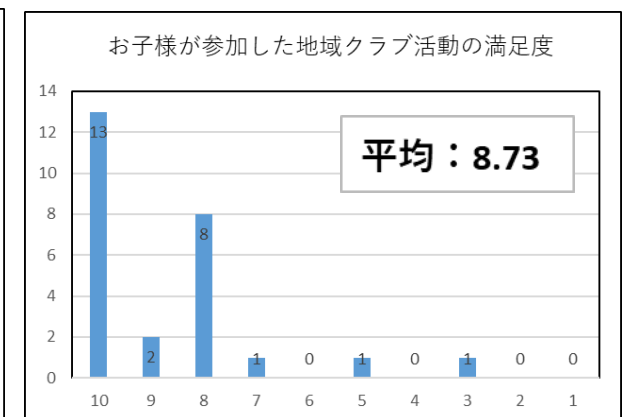
令和8年1月より、新たに2種目の地域クラブ活動（軟式野球・相撲）を開始し、まず市内中学校に設置されている部活動の活動環境の整備を優先的に行っている。

また、本市が地域クラブ活動への移行を推進する上で、課題となることの一つが、指導者の確保である。県の人材バンクの活用を図っていくとともに、持続的な体制づくりを進めるためには、地元の指導者の確保が大事であり、スポーツ協会等の関係機関との連携強化にも力を入れたい。

さらに、本市は山間地にあり、本市単独で運営体制を整備することには課題が多い。子供たちが継続的にスポーツに親しむことができる環境整備に取り組んでいきたい。



R7都留市地域クラブ活動生徒アンケートより

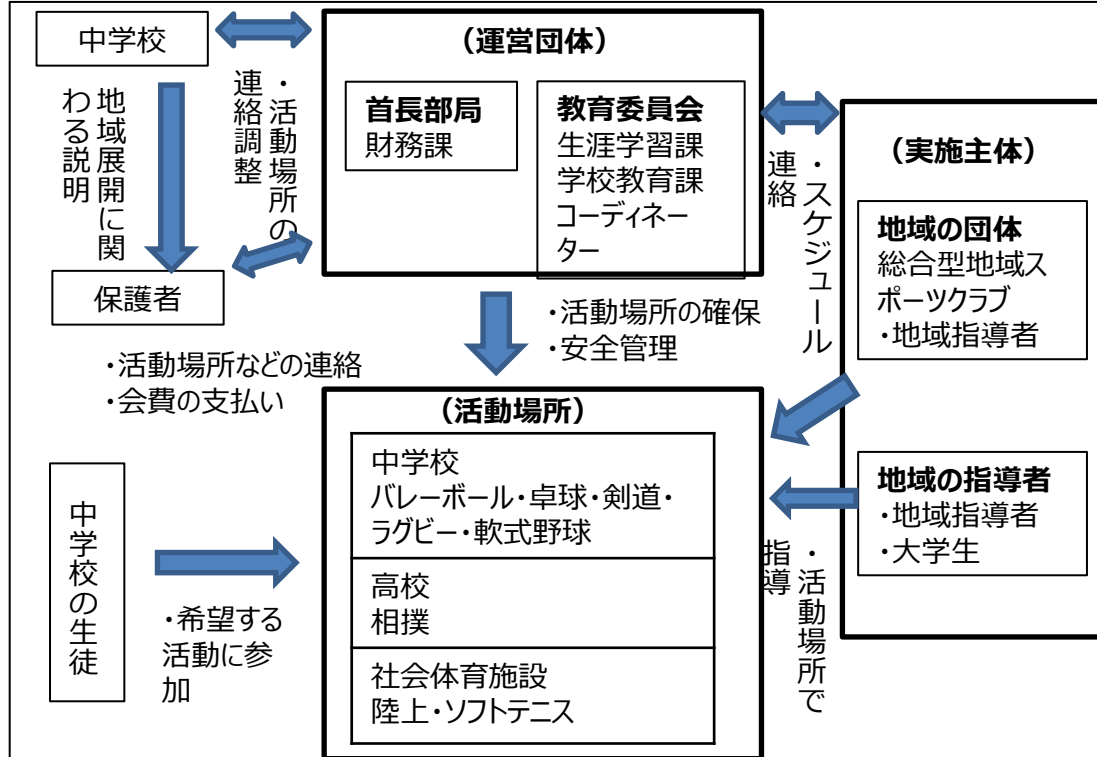


R7都留市地域クラブ活動保護者アンケートより

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- 生涯学習課…地域協議会の開催、地域クラブ活動の運営、地域クラブ活動の周知等
- 学校教育課…生徒・保護者に関する事項、教員の兼職兼業の手続き等
- コーディネーター…地域協議会の企画・運営、地域クラブ活動の運営、学校・関係団体との連絡調整

◎首長部局

- 財務課…予算措置

年間の事業スケジュール

令和7年 4月	都留市地域クラブ活動の募集及び活動開始（6種目） 地域クラブ活動に関する生徒・保護者アンケートを実施 臨時都留市地域クラブ活動推進協議会の開催
令和7年 6月	第7回都留市地域クラブ活動推進協議会の開催
令和7年 7月	都留市地域クラブ活動指導者研修会の開催
令和7年 8月	部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進に向けた産官学連携フォーラムでの研修
令和7年10月	第8回都留市地域クラブ活動推進協議会の開催
令和7年12月	新種目の指導者との打合せ 地域クラブ活動追加募集開始（2種目）
令和8年 1月	都留市地域クラブ活動の開始（2種目）
令和8年 2月	第9回都留市地域クラブ活動推進協議会の開催
令和8年2月3月	都留市地域クラブ活動体験会の実施（8種目）

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		8 クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）	8 クラブ（21 部活動）	
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数	0 クラブ	
全体の指導者数	31 人	全体の運営スタッフ数	12 人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
都留市地域クラブ活動	都留市教育委員会	陸上競技	・平日 0 回 ・休日 24 回	15：00～ 17：00	1年1名 2年1名	令和7年4月～令和8年3月	2 人	2 人 (内、兼務0 人)	0 円 /年額 (など)	中体連：部活動
都留市地域クラブ活動	都留市教育委員会	ソフトテニス	・平日 0 回 ・休日 24 回	9：00～ 12：00	1年10名 2年27名 3年10名	令和7年4月～令和8年3月	7 人	7 人 (内、兼務0 人)	0 円 /年額 (など)	中体連：部活動 その他：地域クラブ活動
都留市地域クラブ活動	都留市教育委員会	バレーボール	・平日 0 回 ・休日 24 回	15：30～ 18：00	1年17名 2年16名 3年10名	令和7年4月～令和8年3月	5 人	5 人 (内、兼務0 人)	0 円 /年額 (など)	中体連：部活動
都留市地域クラブ活動	都留市教育委員会	卓球	・平日 0 回 ・休日 24 回	9：00～ 12：00	1年3名 2年8名 3年4名	令和7年4月～令和8年3月	6 人	6 人 (内、兼務0 人)	0 円 /年額 (など)	中体連：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

なし

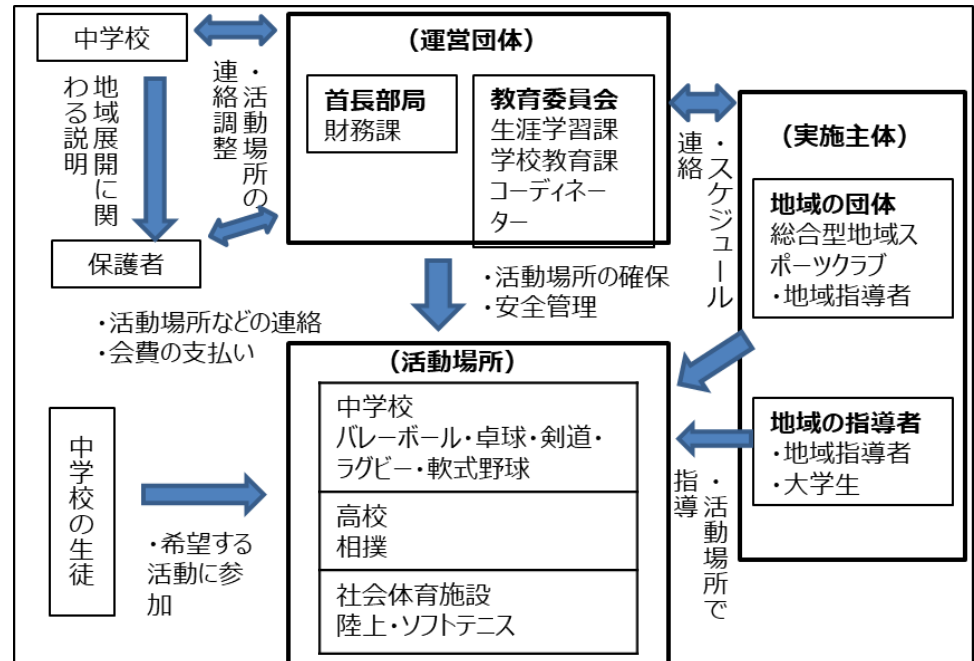
2.実証内容と成果

主な取組例

●都留市地域クラブ活動 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技、ソフトテニス、バレーボール、卓球、剣道、ラグビー、軟式野球、相撲
運営団体名	都留市教育委員会
期間と日数	全種目月2回程度
指導者の主な属性	地域指導者、部活動指導員、大学生等
活動場所	市内中学校施設、市内社会体育施設
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者の送迎等
1人あたりの参加会費等(年額)	生徒の保険料を徴収 800円/年
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年(64歳以下) 1,200円/年(65歳以上)

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 都留市教育委員会（総括コーディネーター）
役割：会員名簿の作成・連絡、活動日時・場所等の連絡調整、保険料の徴収等を行う
- 指導責任者 8名
役割：会員への連絡、市教委との連絡調整、勤務実績の報告等を行う
- 指導者 31名
役割：会員の指導、安全管理等を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

地域クラブ活動を実施する上で生じる課題を把握し、適切な解決策を検討するために、地域協議会や学校、地域クラブ活動の指導者、保護者、関係団体等と連絡調整を行った。

関係者間の連絡調整を行う総括コーディネーター1名と、関係団体担当のコーディネーター1名、中学校コーディネーター3名を設置し、運営団体・実施主体の体制整備に向け、関係者間の協議を行った。

年4回都留市地域クラブ活動推進協議会を実施した。

コーディネーターの育成を図るため地域クラブ活動指導者研修会を実施した。責任の主体などの明確化について取組を行った。

取組の成果

7月に地域クラブ活動指導者研修会を実施し、県担当者や地域クラブ活動指導者、中学校コーディネーターとの意見交換をすることができた。

関係者間の連絡調整を行う総括コーディネーター1名と、スポーツ協会担当のコーディネーター1名、中学校コーディネーター3名を設置することができた。

都留市地域クラブ活動推進協議会を4月・6月・10月・2月に実施した。

中学校コーディネーターを都留市地域クラブ活動推進協議会の委員に委嘱し、コーディネーターの育成を図った。また、地域クラブ活動指導者研修会に中学校コーディネーターが出席し、意見を交換した。

責任の主体の明確化に関する取組としては、都留市における地域クラブ活動認定要件確認書を作成した。

今後の取組における課題

地域クラブ活動指導者研修会において、地域クラブ活動への展開趣旨の周知や生徒のニーズに応じた体制づくりなどに課題があるという意見があった。

本年度新たな地域クラブ活動を2種目開始したが、指導者の代表をしてくださる人材を見つけるまでに時間がかかり、体制整備が遅れた。別の種目では、希望する指導者はいるが、指導者を取りまとめる指導者がまだ見つからず、地域クラブ活動への展開ができない状態である。指導者の確保が課題である。

運営団体を将来外部団体に委託する予定であるが、まだ体制整備に向けた準備があまり進んでいない。

課題への対応方針

地域クラブ活動への展開趣旨の周知については、説明会の実施やチラシ等での周知、ホームページや市広報などのいろいろな機会を利用し、情報発信などに取り組んでいきたい。

地域クラブ活動に参加している生徒に、「競技力向上をめざす生徒」と「楽しみたい生徒」が見られるとの意見があった。生徒のニーズに沿った体制づくりをめざしていきたい。そのためにも、レベルに応じた指導者の確保が課題になるので、より多くの指導者の確保に取り組んでいきたい。

将来運営団体を委託する予定の外部団体との話し合いの場を設定し、地域クラブ活動での活動を希望する生徒の受け皿となる体制づくりに取り組んでいきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・都留市地域クラブ活動推進協議会を開催（年4回）した。
- ・昨年度から開始した地域クラブ活動（6種目）の継続・発展と新たに開始した地域クラブ活動（2種目）の体制整備に取り組んだ。
- ・学校・指導者・生徒・保護者・関係者などの連絡調整を行った。
- ・山梨県主催の地域クラブ活動市町村担当者会やコーディネーター研修会などに参加し、最新の情報の収集や改革の方向性などを学んだ。

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- ・運営団体である都留市教育委員会は、申請があった指導者との面接を実施し、採用の可否を判断している。
- ・都留市地域クラブ活動の指導手引き、安全管理マニュアル等を作成し、それを利用し指導の安全性向上に努めた。
- ・都留市における地域クラブ活動認定要件確認書を作成した。指導者の代表にその内容を確認・署名してもらい、安全安心な地域クラブ活動の実施に取り組んだ。

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- ・都留市地域クラブ活動への申込をWEB申込とした。
- ・地域クラブ活動に参加している生徒の名簿や申込データなどの情報を、実施主体の代表者にメールで送信した。
- ・実施主体の指導者との情報交換に、ICTを活動している。

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

地域クラブ活動において発生したトラブルや事故の責任は、運営団体である都留市教育委員会にあるが、そのトラブルや事故への対応については各種目の指導者や家庭・学校などと連携を図り、問題解決に努めている。

都留市安全管理マニュアルを参考に、まずは未然防止に全力で取り組んでいる。トラブルや事故が発生した場合は、被害者のケアを優先するとともに、事実確認をしっかりと行い、迅速に組織的な対応を図り、問題解決に取り組む。また、問題解決後には、再発防止策などを検討する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

県の人材バンクの利用や公募等により、指導者の量の確保に取り組んだ。

指導者の質の向上をめざし、指導者研修会を実施した。

市内の大学等との連携を図り、継続的で安定した指導体制の整備をめざした取組を行った。

取組の成果

県の人材バンクから、ソフトテニス7名、バレーボール2名、卓球1名、ラグビー1名、軟式野球2名、合計13名の指導者を確保することができた。公募などによる指導者も9名を新たに登録することができた。

指導者研修会を7月に実施し、県担当者から今後の部活動改革の方向性について講演や地域クラブ活動指導者と中学校コーディネーターの情報交換を行うこともでき、連携強化につながった。

市内大学との連携では、現在6名の大学生が地域クラブ活動指導者として活動を実施している。

今後の取組における課題

少しずつ指導者数の確保は進んでいるが、まだ十分な人数が確保できていないわけではない。より多くの指導者の確保が必要である。

指導者の資質において、まだ不十分な部分がある。

市内大学との連携は徐々に進んでいるが、まだ十分とは言えない。

地域クラブ活動を安定的継続的な活動としていくためには、市内指導者で取りまとめ役となる指導者の存在が欠かせない。今後地域クラブ活動の拡大が進む中で、より多くの優秀な指導者の確保に取り組む必要を感じる。

課題への対応方針

指導者数の確保については、県の人材バンクや市広報等による公募など、様々な取組を継続して行い、指導者数の確保に努めていきたい。

指導者の資質向上においては、研修会の実施に取り組んでいきたい。また、OJTによる大学生など若手指導者の育成にも努めていきたい。

大学との連携においては、より多くの大学生の協力が得られるような体制整備を図っていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

指導者の量の確保のため、県人材バンクや市広報での公募等を実施した。
 新しく地域クラブ活動を開始する際に、各種目の協会・連盟と連携して体制整備を進めた。協会・連盟の関係者と一緒に体制づくりをすることで、協会・連盟の理解と支援を受けることができ、多様な指導者の確保をめざした。

指導者研修受講者の質問・意見

- 地域クラブ活動指導者から県担当者への質問・意見
 - ・市町村により地域展開の推進状況に地域格差があるように感じますが、県として格差解消の取組や今後の体制整備をどのように進めていこうと考えていますか。
 - ・中学校との連携に課題を感じます。先生方への理解をどのように進めますか。
 - ・指導者・関係団体等への周知が不足しているように感じます。各協会やスポ少などの理解を深める取組を進めてほしいです。
 - ・地域クラブ活動に参加する生徒の意識が、「技能重視の生徒」と「楽しみたい生徒」の二極化があり、指導の面で苦慮しています。
- 地域クラブ活動と中学校との情報交換で出された意見
 - ・地域クラブ活動の目的や意義、活動の様子などの情報発信が、まだ不十分です。
 - ・（部活動改革の当初の目的は、教員の働き方改革でありましたが）現在の部活動改革の第一の目的は、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保であることをより一層周知する必要があります。
 - ・子どもたちにとってより良い活動とするためには、地域クラブ活動・中学校・関係団体等の連携強化をより一層図ることが大切です。
 - ・生徒の多様なニーズに応えるため、レベル別等の体制を検討する必要があります。しかし、より多くの指導者を確保することが課題となります。

指導者研修の内容

研修名	都留市地域クラブ活動指導者研修会
講師	山梨県保健体育課学校体育担当 田鹿 欣孝 様
研修内容	1. 講演会 ① 「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめについて ② 地域クラブ活動のより良い指導のために 2. 地域クラブ活動と中学校との情報交換

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブ、大学等の関係強化に向け、連絡調整を行った。

取組の成果

スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブ、大学、PTAの関係者に、都留市地域クラブ活動推進協議会の委員を委嘱し、連携強化に努めることができた。

スポーツ協会内にコーディネーターを配置し、総括コーディネーターとの連携し、体制整備を進めている。

今後の取組における課題

将来的には、スポーツ協会に運営団体を委託する方向で準備を進めているが、まだ体制整備が十分ではなく、協議もまだ進んでいない。

課題への対応方針

本年度は、コーディネーターをスポーツ協会内に置くなど、スポーツ協会内の体制整備に取り組んでいる。今後は、地域クラブ活動の運営団体としての体制整備を図るため、関係者等との打合せなどを実施するようしていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

スポーツ協会との連携に関する取組

スポーツ協会内にコーディネーターを1名配置した。将来的には、運営団体として業務を委託することを想定しているが、まだスポーツ協会内の体制整備が十分ではないため、本年度はスポーツ協会内の業務の整理などを行った。

市内大学と連携した取組

市内にある都留文科大学や健康科学大学などの連携強化に取り組んでいる。各大学から、専門的な知識を持った職員の地域協議会委員としての協力のほか、多くの大学生が地域クラブ活動の指導者をしている。令和7月末時点では、バレーボールと卓球の2種目で6名の大学生が指導を行っている。来年度からは、さらに弓道の指導を予定している。

都留市地域クラブ活動推進協議会委員委嘱の取組

本市では、スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブ、大学、PTAの関係者に、都留市地域クラブ活動推進協議会の委員を委嘱し、体制整備を推進している。

本年度は、4月・6月・10月・2月の4回地域協議会を開催し、多方面からの意見を参考に、体制整備を進めた。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

市内中学校部活動を地域クラブ活動に展開する取組を行った。
隣村の中学校と合同チームを編成している活動があるため、今後も連携協力して活動が実施できるよう、連絡調整に取り組んだ。
市町村担当者会等の機会を利用し、本市の地域クラブ活動の取組を発表した。

取組の成果

市内中学校部活動のうち、新たに2種目の地域クラブ活動を開始した。
市内の軟式野球部は、隣村の中学校と合同チームを編成していたが、8月以降隣村で軟式野球部を休部としたため、1月より地域クラブ活動としての活動に切り替えを図った。
市町村担当者会や県スポーツ指導者協議会南北都留合同研修会などで本市の取組を発表した。

今後の取組における課題

種目により近隣市町村と連携した体制づくりを図る必要性を感じているが、具体的な話し合いまでは進んでいない。

課題への対応方針

近隣市町村の担当者と連絡を取り、情報共有を図る中で、広域連携の取組を進めたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

市区町村等を越えた取組

本市の中学校に設置されている軟式野球部は、年度当初は隣村の軟式野球部と合同チームを編成し、大会や練習に取り組んでいたが、8月に隣村の軟式野球部が休部となった。今後必要に応じて、連携を図っていく。

本市の取組事例の発表

12月に開催された「令和7年度山梨県スポーツ指導者協議会北都留・南都留合同支部研修会」において、本市の取組事例を発表した。

また、2月に開催された「令和7年度 第4回地域クラブ活動への移行に関わる市町村担当者会」において、本市の取組事例を発表した。

近隣地域での取組があまり進んでいない中、先進事例として取組の様子を発表することができた。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

4月に生徒・保護者を対象とするアンケート等を実施した。児童・生徒のニーズを把握し、より良い活動体制の整備に取り組んだ。

市内の高校や大学、多世代との交流の機会の創出をめざし、取り組んだ。

取組の成果

年度当初に実施したアンケートによると、昨年度地域クラブ活動に参加した生徒・保護者の満足度は、生徒が90.7%、保護者が87.3%だった。

アンケートにより得られた生徒や保護者のニーズを、その後の体制整備に生かすことができた。

陸上競技は、総合型地域スポーツクラブと連携し、小学生から大人までの多世代と一緒に活動を実施している。

相撲は、市内の高校と連携し、一緒に活動を実施している。

今後の取組における課題

年度当初にアンケートを実施したが、生徒・保護者からの回答があまり多くはなかった。

市内の高校や大学等との交流が、まだ一部の種目に限られている。

課題への対応方針

アンケートの実施方法を工夫する。

市内の高校や大学との交流機会の拡大に向け、連絡調整等を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

アンケートの実施

4月に、生徒と保護者を対象に、「都留市地域クラブ活動についてのアンケート」を実施した。

その結果、昨年度地域クラブ活動に参加した生徒・保護者の満足度は、生徒が90.7%、保護者が87.3%だった。おおむね満足してる様子がうかがえた。

アンケートの中で、生徒・保護者から出された課題を、その後の体制整備に生かすことができた。

多世代と一緒に活動する取組

本市で実施している陸上競技の地域クラブ活動は、総合型地域スポーツクラブが実施主体となって活動を実施している。

毎月2回の活動日には、中学生のほか、小学生や高校生、一般の方が一緒に活動を行っている。市内大学の陸上部員が指導者となり、各年代に応じた練習メニューを作成し、活動を実施している。

高校と連携した取組

本市で実施している相撲の地域クラブ活動は、市内にある県立高校の相撲部と連携し、活動を実施している。

現在相撲の地域クラブ活動参加者は2名と少ないが、高校生と一緒に稽古をし、良い影響を受け、充実した活動を行っている。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

学校施設の施設利用ルールの徹底を図る取組を行った。
学校体育館に設置されているキーボックスによる鍵の管理の徹底を図った。
学校施設の優先利用や減免などについて検討を行った。

取組の成果

本年度地域クラブ活動が学校施設を利用したのは、69%だった。
個別地域クラブ活動の指導者を通して、学校施設の施設利用ルールを指導した。
毎月変わるキーボックスの暗証番号を連絡する際に、鍵の管理についても指導を行った。

今後の取組における課題

現在個別地域クラブ活動で使用する用具として、学校の用具を借用しているため、用具の保管場所の鍵などの管理が課題である。

課題への対応方針

用具の保管場所の管理について、学校と協議し、より良い管理体制の構築を図っていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

負担軽減を図るため、キーボックスにより学校施設の鍵の管理を行っている。

用具使用・管理等における取組

現在個別地域クラブ活動で使用する用具として、学校の用具を借用しているため、用具の管理などについて学校と連絡調整を行っている。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- ①「体制整備に向けて、関係者等との話し合いの機会をできるだけ多く行う」
- ②「指導者の確保とともに、指導者研修会等の実施による質の確保にも取り組む」
- ③「HPや説明会等を通して、地域クラブ活動の理解の深化を図る」

本年度上記の3つの目標を立て取組を進めた。

①の体制整備に関しては、さまざまな関係者との連携を図り、本年度新たに2つの地域クラブ活動をスタートすることができた。

②の指導者に関しては、県人材バンクの活用、市の広報や大学での公募などに取り組み、本年度新たな指導者を9人増やすことができた。また、7月に指導者研修会を実施し、地域クラブ活動と学校との情報共有を図る中で、相互理解を深める取組を行うことができた。

③の情報発信については、HPや市の広報、新入生説明会等で地域クラブ活動の理解を深める取組を行ったが、まだ十分とは言えない。今後も地域クラブ活動の理解の深化を図っていきたい。

●成果の評価

本年度は、地域クラブ活動を2種目増やすことができたこと、地域クラブ活動認定要件確認書を作成したこと、地域クラブ活動体験会を実施したことなどの成果を上げることができた。今後もより多くの生徒が参加し、スポーツに親しむ機会を確保するために尽力していきたい。

●今後に向けて

昨年12月に「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」が策定された。現在実施されている地域クラブ活動を、その内容に対応した内容への変更を検討していきたい。また、本市の生徒にとって、安全安心で楽しい地域クラブ活動となるような体制整備を推進していきたい。

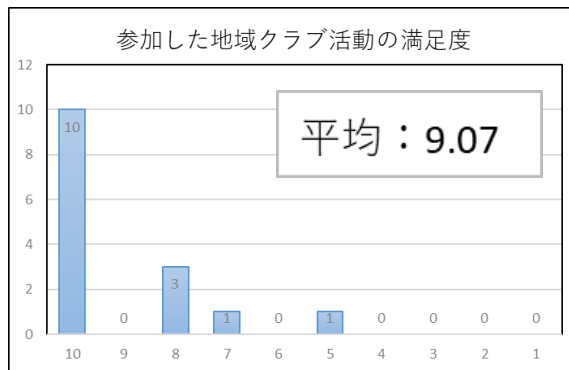
2.実証内容と成果②

アンケート結果・参加者/関係者の声

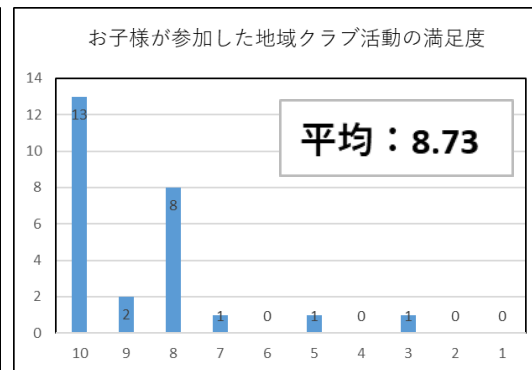
●アンケート結果

Q.地域クラブ活動の満足度を10段階でお答えください。(最高は10、最低は1で)

生徒アンケート

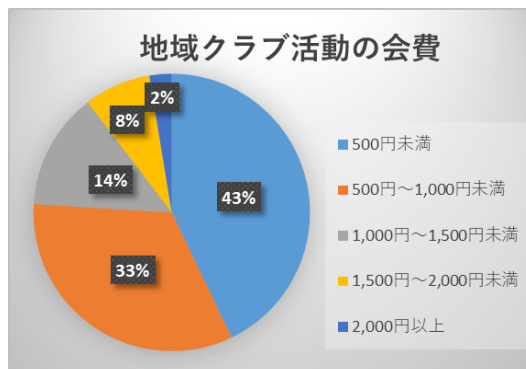


保護者アンケート



Q.現在地域クラブ活動の費用として、生徒保険代（800円）のみを徴収しています。国のガイドラインでは、「地域クラブ活動の運営団体は、可能な限り低廉な会費を設定する」と記載されています。お子様が地域クラブ活動に参加する場合に、1ヶ月の活動費はどの程度が適当だと思いますか。次の中から選択してください。

保護者アンケート



●参加者/関係者の声

生徒アンケート
良かったところ
たくさん練習できること、丁寧に教えてもらえること。他の学校の子と、一緒に練習できて友達になれたこと。
指導者と経験者が楽しく真剣に教えてくれて、とても嬉しかったです。
改善点
時間が短い
練習場所が遠い。
意見・要望等
地域移行の種類が少ないためできるスポーツを増やして欲しいです。
のびのび楽しく活動ができる場所であってほしいです。
保護者アンケート
良かったところ
専門のコーチに指導していただき、大勢の仲間と練習できることが励み、やりがいに繋がっていたと思います。
月に2回なので勉強と両立が出来る所。
改善点
学校と部活との連携
初心者・中級・上級と、クラスを分けて欲しい。
意見・要望等
クラブチーム指導者も結局は仕事があるので、活動開始時間が18:30,19:00などと遅い。部活の時間帯（16:00-18:00）にクラブチームの活動を設定してくれないと、部活の代わりにはなりません。今までは部活後に塾に行けたのに、現状では塾と時間が被っていて、クラブか塾を選ばさせられている状況です。文武両道ではなく文or武。地域になると家族の負担が大きく、家族の協力が得られないため、金額的にも大変でやらせたくない。
指導者・学校関係者の意見
市町村により地域展開の推進状況に地域格差があるように感じますが、県として格差解消の取組や今後の体制整備をどのように進めていこうと考えていますか。
指導者・関係団体等への周知が不足しているように感じます。各協会やスポ少などの理解を深める取組を進めてほしいです。
生徒の多様なニーズに応えるため、レベル別等の体制を検討することが必要です。しかし、より多くの指導者を確保することが課題となります。

2.実証内容と成果④

参考資料



【地域クラブ活動推進協議会】



【指導者研修会】



【陸上競技】



【ソフトテニス】



【卓球】



【剣道】

参考資料

学校部活動から地域クラブ活動へ

少子化が進む昨今、市内の生徒たちがスポーツや文化芸術活動に親しむ機会をこれからも確保するために、令和6年12月より地域クラブ活動を開始しました。

問合せ 生涯学習課 スポーツ振興担当

月2回、休日に3時間程度活動しています！

どんなクラブがあるの？

現在、陸上競技、ソフトテニス、バレーボール、卓球、剣道、ラグビーの6種類のクラブがあります。1月からは軟式野球と相撲、2月から吹奏楽も活動を開始します！※申込はスクリーンにて配信するURLから行えます。

年間活動予定 ※予定変更の際には随時お知らせします。

地域クラブ活動に移行するメリット

- 生徒の選択肢が広がる
学校の垣根なく参加するため生徒数が増加し、部活の人数によって大会やコンクールをおこなうことができなくなります。
- 専門的な指導を受けられる
専門性の高いコーチからの指導により、高い技術を身に付けられます。
- 教育の質の向上
教員の時間外勤務を認めることで、本来の業務や生徒と接する時間を増やすことにつながります。

生徒と保護者の声

生徒

- コーチがしっかり教えてくれた事で上手くなった
- 他の学校の子と、一緒に練習できて友達になれたこと
- たくさん練習できること、丁寧に教えてもらえること

参加してよかった！

保護者

- 指導者の先生方が丁寧に指導をしてくださったので、楽しく参加することができました
- 専門のコーチに指導していただけ、大勢の仲間と練習できることが励み、やりがいに繋がっていたと思います
- 他校の生徒との交流ができた

参加させてよかった！

指導員募集中！

生徒の健全な育成のために力を貸してくれる方を募集します。

応募先・方法
電話にてお申し込みください。
生涯学習課 スポーツ振興担当 ☎(43)1111
※申込の際に必要な書類と打合せの案内をします。

応募条件
○18歳以上
○過去に不適切な指導などをしていない
○都留市地域クラブ活動基本方針にそって活動ができる

R 6 . 1 . 1 6

【広報つる 1月号】

都留市中学校部活動の地域展開について

更新日：2025年12月11日

- 中学校部活動の地域移行について (チラシ)
- 山梨県「休日の学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行」についての啓発資料
- 都留市地域クラブ活動への移行についてのアンケート結果
- 都留市地域クラブ活動保護者等説明会
- 都留市地域クラブ活動指導者関係書類等
- 都留市地域クラブ活動推進協議会
- 令和7年度都留市地域クラブ活動についてのアンケート結果 (生徒用・保護者用)
- 都留市地域クラブ活動年間活動予定

【都留市ホームページ】

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

学校、スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ、競技団体
首長部局（財務課）、市教委（生涯学習課、学校教育課）
総括コーディネーター、コーディネーター、中学校コーディネーター

経過

令和5年6月に都留市地域クラブ活動推進協議会を設置し、市教委が中心となり、地域クラブ活動の体制整備を推進した。令和6年度に6種目の地域クラブ活動を開始し、令和7年度には8種目に拡大した。都留市地域クラブ活動基本方針や指導手引き、安全管理マニュアルを作成し、安心安全な体制づくりに努めた。

実施内容

令和6年12月より市内3中学校の6種目（陸上競技・ソフトテニス・バレーボール・卓球・剣道・ラグビー）、令和8年1月より2種目（軟式野球・相撲）において、月2回の休日の部活動を地域クラブ活動に展開した。陸上競技とソフトテニスの実施主体は、総合型地域スポーツクラブの指導者に依頼した。その他の種目は、新たな地域クラブ活動を立ち上げた。市

内3中学校から希望する生徒が登録し、本年1月時点で129名が活動を行っている。費用は、保険代（800円）を受益者負担とし、その他の費用は市が負担して行っている。

実施にあたって生じた課題

指導者の確保に課題があり、市内中学校に設置されている部活動のすべての種目の指導者を確保することが難しい。今後もスポーツ協会等に協力を呼びかけていきたい。

また、地域クラブ活動が始まったばかりであるため、地域クラブ活動についての理解が十分ではない面があるように感じた。理解を深める取組の実施を検討したい。

今後の展開

まだ休日の部活動から地域クラブ活動への展開が完了していない種目があるので、最優先で取組を推進する。指導者の確保が課題になるので、スポーツ協会や大学等との連携を強め、指導者の確保に取り組む。また、将来的に近隣の市町村と連携した体制の必要性を感じるので、近隣市町村との連携に向けた協議を進める。

3. 今後の方向性

地域連携・地域展開の推進に向けたロードマップ

市町村名(都留市)		認定地域クラブ活動への展開に向けたロードマップ			
項目	担当課	取組内容・方向性等			
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(以降)
①コーディネーターの配置	学校教育課	○コーディネーターの決定 ○職務等の打ち合わせ	○コーディネーター・中学校コーディネーターの配置 ○コーディネーターの継続的な配置体制の構築		
	生涯学習課				
②協議会等の設置・運営	学校教育課	○学校関係者の委員選定	○協議会の設置・開催(年3回程度) ○地域クラブ活動への移行に関わる課題等の検討・協議・決定		
	生涯学習課	○社会教育関係者の委員選定			
③運営体制の構築	学校教育課	○アンケート調査実施 ○子どものニーズ把握	○各学校との打ち合わせ		
	生涯学習課	○運営団体の検討○実施主体の検討 ○運営方針の検討・決定	○運営団体の検討・決定 ○実施主体の決定 ○実施内容等の検討・決定		○認定地域クラブ活動の試行的・本格的な実施の検討(種目等)
④指導者の確保	学校教育課		○子どものニーズ把握 ○教職員の兼職兼業希望の把握		
	生涯学習課		○確保方法について検討 ○各種団体との連携	○指導者の募集(スポカルやまなしの活用) ○指導者の決定・派遣 ○指導者研修会の検討・開催 ○指導状況の把握	
⑤活動場所の確保及び管理運営	学校教育課		○各学校との打ち合わせ ○各学校との調整		
	生涯学習課		○使用可能施設の把握・調整 ○地域クラブ活動実施から出た課題の検討・改善等 ・使用施設の修繕や改修		
⑥予算・財源の確保(保護者負担等)	学校教育課	○協議会に関わる予算確保			
	生涯学習課	○国の実証事業への参画による予算確保 ・協議会運営費 ・コーディネーター人件費 ・指導者謝金 ・消耗品費等		○コーディネーターに関わる予算確保 ○検討会に関わる予算確保	
⑦関係者への周知	学校教育課	○地域移行の基本情報の周知 ・学校(保護者、生徒、教員) ・地域住民 ・スポーツ団体、文化団体		○市の考え方・方針・ゴールイメージ等に関する周知 ○運営団体・実施主体の具体的な取組に関する周知(運営方針、実施内容、地域クラブの規定等) ○実施される地域クラブ活動に関する周知(参加者募集、指導者募集、協力をお願い等)	
	生涯学習課	○市のHPに専用ページの作成	○市のHPから随時情報発信(協議会議事録、地域移行チラシ、参加可能活動クラブ紹介、活動の様子紹介等)		

一つ以上の地域クラブ活動の完全実施を目指す

出典：都留市認定地域クラブ活動への展開に向けたロードマップ